

Cisco ONS 15454 TCC、TCC+またはTCC2カードへのPCの直接接続のトラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[接続に関する一般的な問題の解決](#)

[アクティブTCCカードに直接接続されたPCからのリンクレベル接続の確立](#)

[アクティブTCCカードに直接接続されたPCからのIP接続の確立](#)

[新しい15454シエルフのみ](#)

[Javaソフトウェアのインストールと設定](#)

[JREソフトウェアのインストールと設定](#)

[JARファイルのダウンロードとインストール](#)

[CTCアプリケーションのダウンロードと起動](#)

[JREソフトウェアのインストールおよび設定時の一般的な問題](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、次の項目を試みる上で発生する一般的な問題について説明します。

- アクティブなTiming, Communications, and Control(TCC)カードに直接接続されているPCから、リンクレベルの接続を確立します。
- アクティブTCCカードに直接接続されたPCからIP接続を確立します。
- PCにJava™ソフトウェアをインストールして設定します。
- Cisco Transport Controller(CTC)ソフトウェアをダウンロードして起動するには、TCCカードを使用します。

注：このドキュメントはインストールガイドではありません。このドキュメントは、[ユーザドキュメント](#)と併せて、トラブルシューティングとリファレンスガイドまたはスタンドアロンのトラブルシューティングガイドとして使用してください。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco ONS 15454 に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

接続に関する一般的な問題の解決

このセクションでは、「[概要](#)」セクションに掲載されている各シナリオでの一般的な接続問題の解決方法について説明します。

アクティブTCCカードに直接接続されたPCからのリンクレベル接続の確立

Cisco ONS 15454の初期設定では、PCのネットワークインターフェイスカード(NIC)のRJ-45ポートと、ONS 15454のTCCカードのRJ-45ポートを、ストレートRJ-45イーサネットケーブルで接続します。ほとんどの15454には、アクティブTCCカードとスタンバイTCCカードがあります。ソフトウェアバージョン2.0以降では、アクティブまたはスタンバイTCCカードのいずれかにケーブルを接続できます。

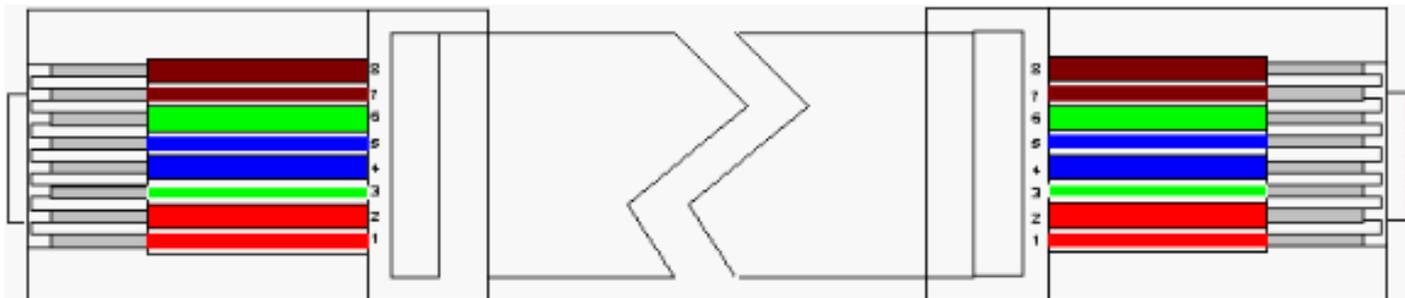
注：スロット7とスロット11は、アクティブとスタンバイのTCCカード用に予約されています。これら2つのスロットはバックプレーンLANとともにハブ接続され、速度は10 MB、半二重に固定されています。

正しいケーブルを使用したかどうかを確認するには、[表1](#)と[図1](#)の情報を 사용합니다。

表1 – ピン割り当て図

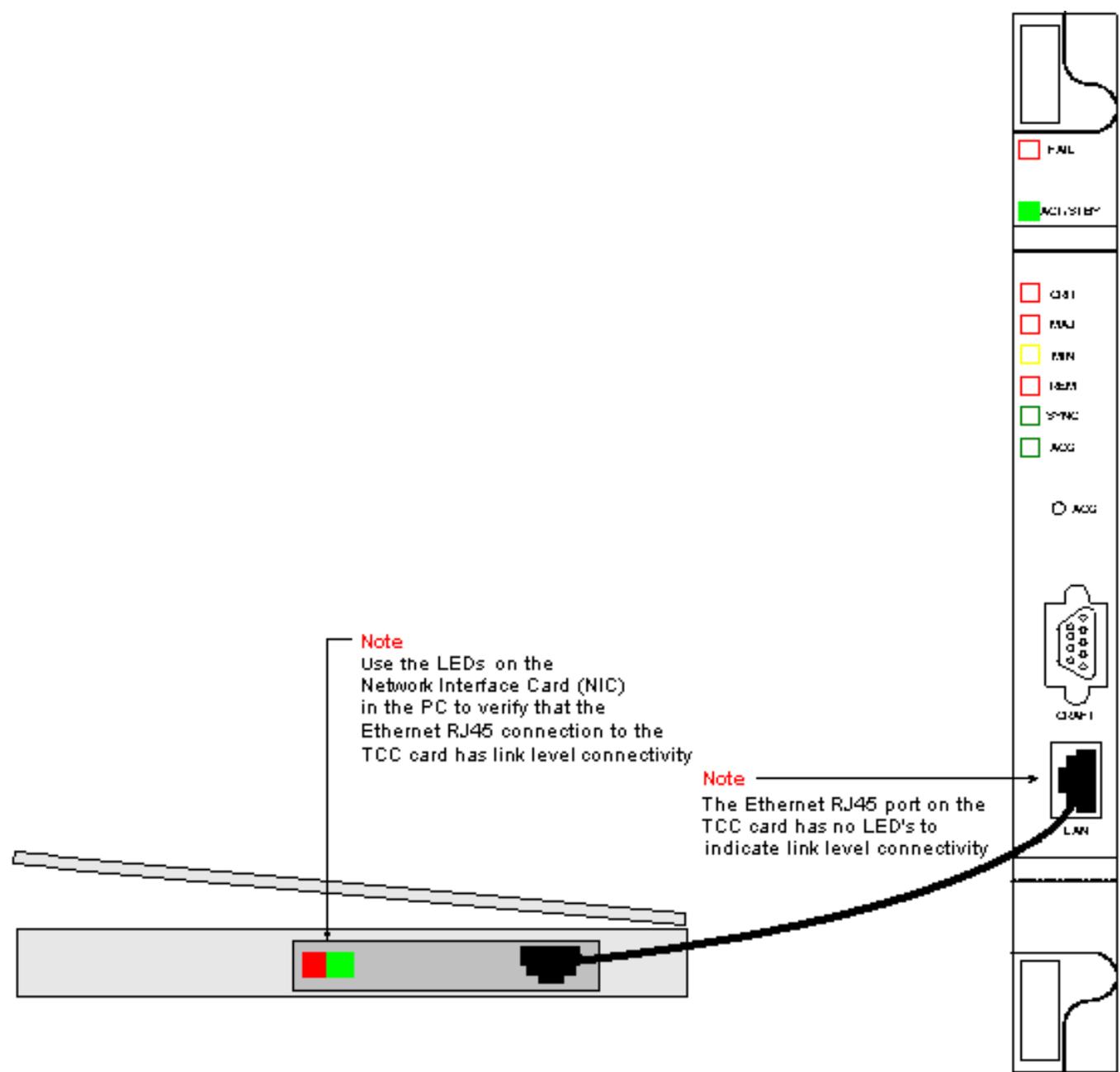
ピン	色	ペア	[名前(Name)]
1	白/橙	2	Txデータ+
2	オレンジ	2	Txデータ-
3	白/緑	3	受信データ+
4	青	1	-
5	白/青	1	-
6	緑	3	RecvData -
7	白/茶	4	-
8	茶色	4	-

図1 – ストレートイーサネットRJ-45のケーブル図



注：TCCカードのRJ-45ポートには、リンクレベルの接続を示すLEDがありません。イーサネット接続のリンクレベル接続を確認するには、PCのネットワークインターフェイスコントローラ (NIC)のLEDを使用する必要があります。TCCカードへのリンクレベル接続が正常に確立されると、赤色のLEDが点灯します。トラフィックが通過し始めると、緑色のLEDが点滅します。

図2 - NICのLED



アクティブTCCカードに直接接続されたPCからのIP接続の確立

新しい15454シェルフのみ

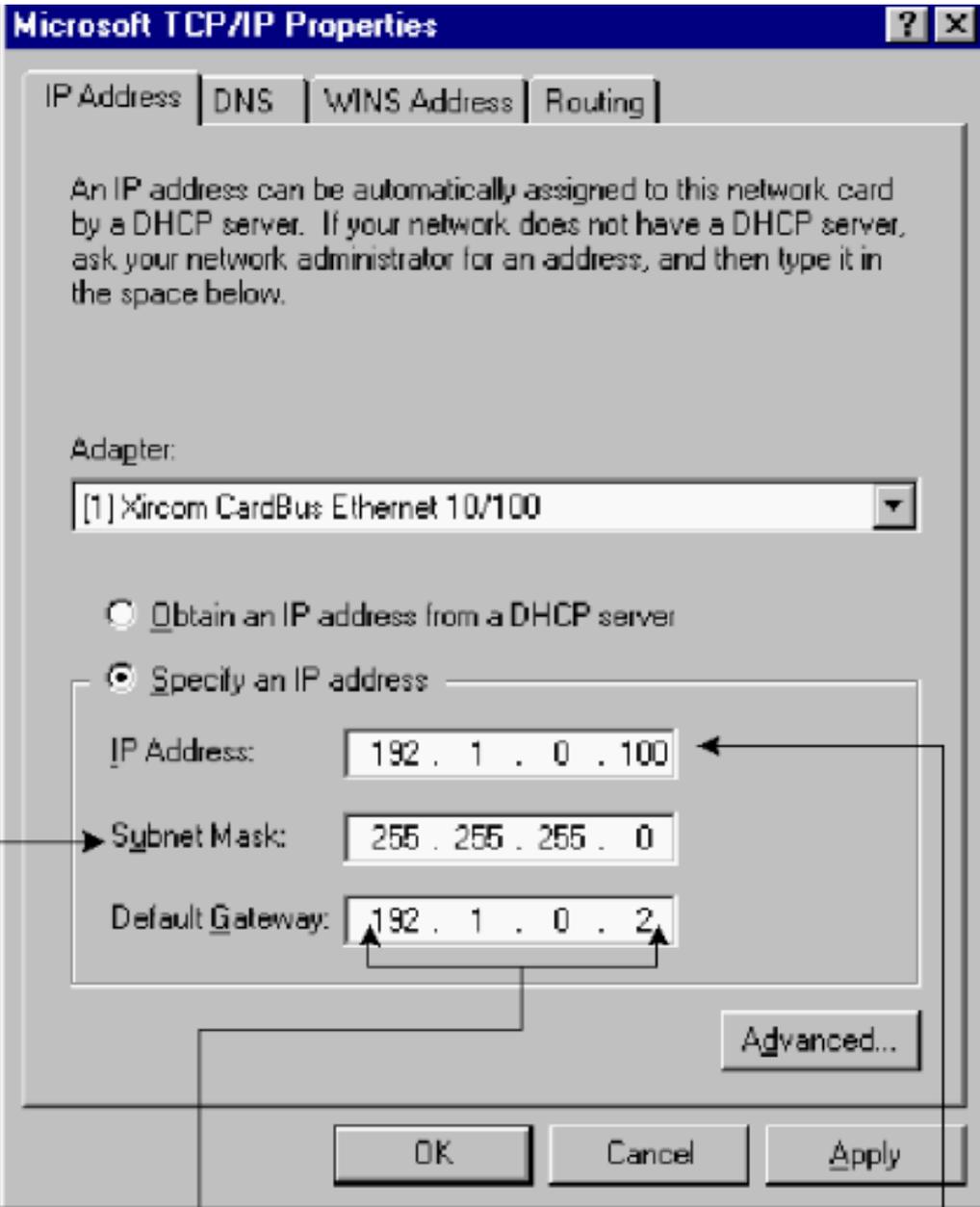
ONS 15454には、デフォルトのノード名としてTCCPが付属しています。デフォルトでは、すべてのONS 15454にクラスC IPアドレス192.1.0.2が割り当てられます。接続を成功させるには、クラスCサブネット192.1.0.x内で一意のIPアドレスを使用してPCを設定する必要があります。また、クラスC IPアドレス192.1.0.2(または直接接続する15454の既存のIPアドレス)を指すデフォルトゲートウェイを使用する必要があります。

注：シェルフがすでに使用されている場合、デフォルトのIPアドレスとは異なるIPアドレスが割り当てられている可能性が高くなります。シェルフを直接調べて、シェルフのLCDディスプレイでこのアドレスを見つけます。LCDディスプレイに問題がある場合は、ネットワーク管理者からIPアドレスを取得します。PCに一意のIPアドレスを設定します。IPアドレスが、シェルフのIPアドレスおよびネットワークマスクと同じIPクラスにあることを確認します。シェルフIPはゲートウェイIPアドレスと同じです。

PCのオペレーティングシステムのTCP/IP Propertiesダイアログボックスを開きます。PCのIPアドレスの最後の3桁を1 ~ 254の一意の値に変更します(図3を参照)。15454のデフォルトIPアドレス(192.1.0.2)を必ず除外してください。

PCとONS 15454のIPアドレスは一意である必要がありますが、最初の3桁が192.1.0.xの同じクラスCサブネット内になければなりません。PCのデフォルトゲートウェイがONS 15454のデフォルトIPアドレスを指していることを確認します。図3は、Windows環境でのTCPプロパティの例です。

図3:Microsoft TCPのプロパティ



Note
 Specify the PC's class C subnet mask value of 255.255.255.0. This 24 bit mask leaves you the last three digits to specify values between 1 and 254 for unique IP addresses within this subnet

Note
 Specify the PC's IP address using the PC's TCP configuration panel. You need to specify a unique IP address within the class C subnet of 192.1.0.x. ie for the last three digits you need to specify a value between 1 and 254. **Do not** use the 192.1.0.2 address on the 15454

Note
 192.1.0.2 is the default IP address that the 15454 is shipped with. When first connecting a PC to the 15454 you need to configure 192.1.0.2 as the default gateway in the PC's TCP configuration panel

Note
 'tccp' is the default node name that the 15454 is shipped with. If you see this node name used the 15454 could be a new box or its database could have been deleted

- SLOT
- STATUS
- PORT

tccp ←
192.1.0.2

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。